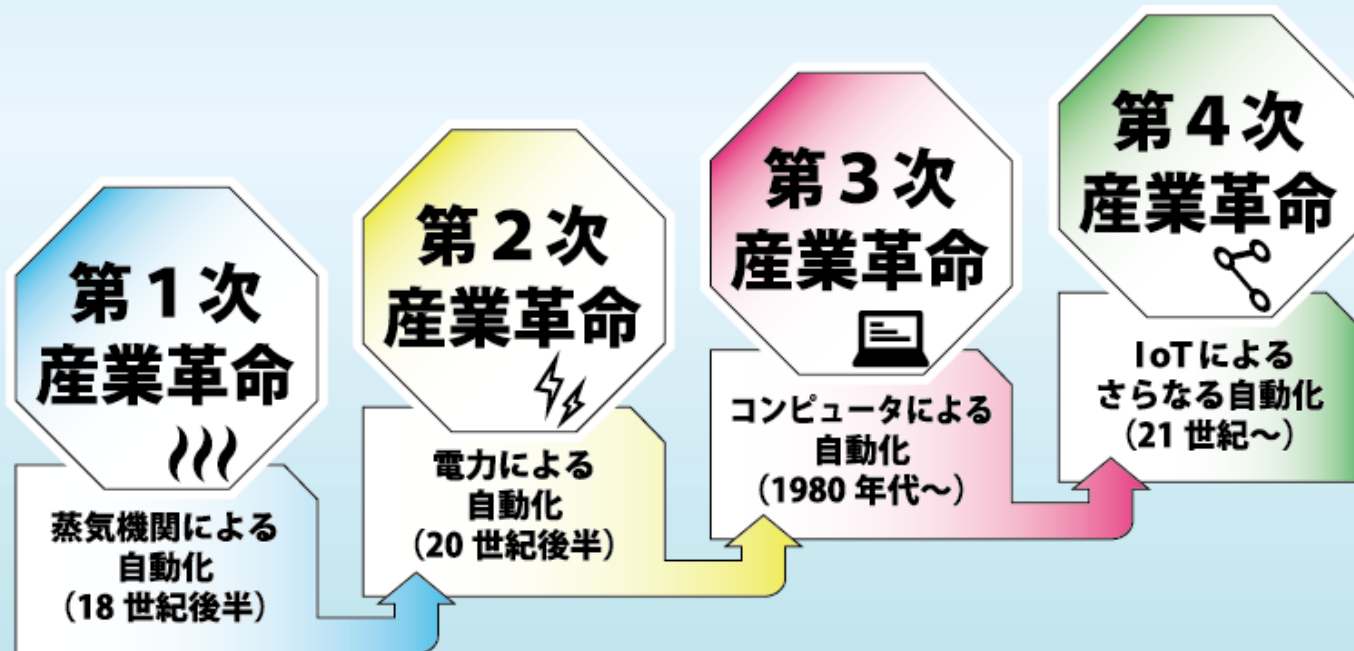


デザイン思考講座 演習

e ラーニングの振り返り

新たな技術が生まれ、世の中の価値観が大きく変わる時
(第4次産業革命) が訪れています。



e ラーニングの振り返り

ビジネスの現場で“イノベーションし続けること”が求められている

商品には寿命があり、それぞれの商品に改良を重ねていってもいつかは寿命が訪れます。そこで、**常に新しい商品の開発を目指し、新商品を生み出していく必要があります**。企業に商品開発部門が存在している理由でもあります。

1つの商品を寿命まで支えていくことも大切ですが、それに代わる新たな価値（=新商品）を開発し続けていくことも求められています。**デザイン思考は、その取り組み方の1つです**。

e ラーニングの振り返り



デザイン思考は、絶えず循環し、イノベーションを起こし続けていく終わりのない取り組みです。

アイスブレイク

円滑なコミュニケーションを実現させるためにお互いを知ろう！

「意外な共通点」

- 4人グループで話し合い、全員の共通点を探してください。
- ありきたりなものではなく“意外な”共通点を探してください。
- 10分後に最も意外な共通点を発表してもらいます。

課題発表

課題への取り組み方

- ① 正面に座っている人が、“あなたのユーザー(お客さん)”です。
- ② 演習の終わりまで、“同じユーザー”と課題に取り組みます。

課題の説明

課題：ユーザーの困りごとをアプリ提案で解決しよう！

- ① ユーザーに、日々の生活のなかの困りごとをインタビューします。
- ② 困りごとを解決するスマホアプリを考えて提案します。
- ③ ユーザーからのフィードバックをもとに提案を改善していきます。

インタビュー

ユーザーにインタビューをしよう

使用ワークシート：a

さんへのインタビュー

インタビュー 1 (What を意識)

インタビュー 2 (Why を意識)

1回目の内容を記入します。
ユーザーの気持ちになって広く
困りごとを聞いてください。

2回目の内容を記入します。
アプリの提案に向けて1つの困り
ごとを掘り下げていってください。

「日々の生活のなかでの困りごと」
についてインタビューをします。
インタビューは2回行います。

問題定義

インタビューから得られた問題を定義しよう

使用ワークシート : b

The screenshot shows a worksheet with the following content:

- Header: ユーザーが・・・
- Section 1: やりたいことは (求めていること) はなんですか? (What do you want to do (what you are looking for) is what?)
 - Three blue horizontal bars representing text input.
- Section 2: 本人が気がついていないけれど、あなたが気付いてしまったこと (インサイト) は何ですか? (What do you notice that the user hasn't noticed, but you have? (Insight) is what?)
 - Three blue horizontal bars representing text input.

ユーザーが表面的に求めているニーズを記入します。

ユーザーが気が付いていないと思われる(でもあなたは気付いた)インサイトを記入します。

インタビューからみえたユーザーのニーズとインサイトを定義します。

フィードバック

問題定義についてフィードバックをもらおう

使用ワークシート : b

ユーザーが・・・

やりたいことは (求めていること) はなんですか?

本人が気がついていないけれど、あなたが気付いてしまったこと (インサイト) は何ですか?

ユーザーからのフィードバック

ユーザーからのフィードバックを記入します。

あなたが見つけた“インサイト”
をユーザーに提案し、フィード
バックをもらいます。

アイデアスケッチ

アイデアを描いてみよう

使用ワークシート：c



ユーザーの“インサイト”を満たす提案を考えます。「質より量」を重視して、思い付いたものを描いていきましょう。

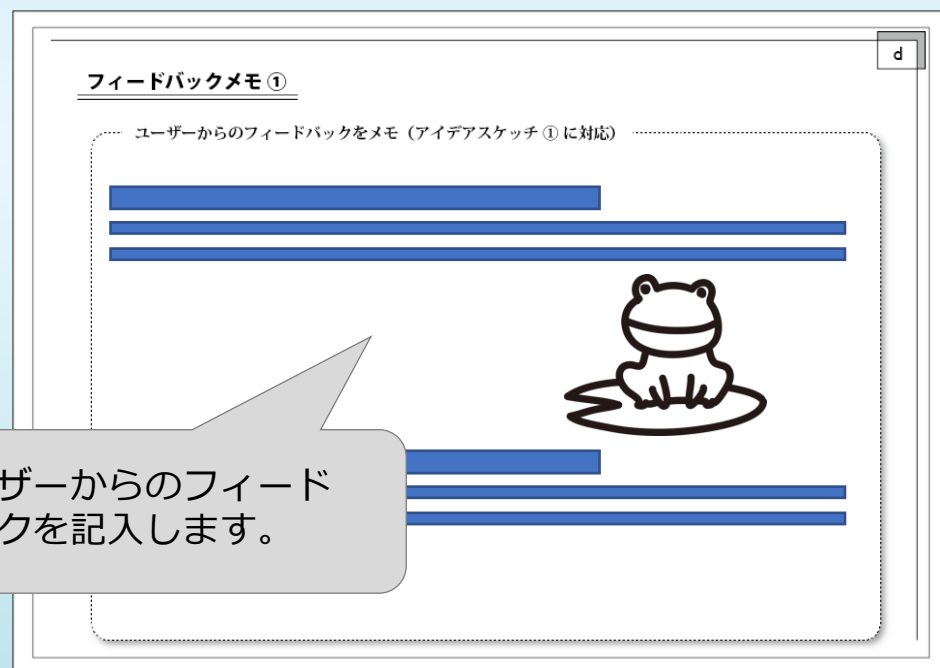
フィードバック

ユーザーからフィードバックをもらおう

使用ワークシート : d

フィードバックメモ①

ユーザーからのフィードバックをメモ (アイデアスケッチ①に対応)



ユーザーからのフィードバックを記入します。

アイデアスケッチをユーザーに見せてフィードバックをもらいます。

まとめと連絡

本日のまとめ

共感(インタビュー)→問題定義(インサイト発見)→創造(アイデアスケッチ)を体験しました。
また、ユーザーからフィードバックをもらう体験もしました。

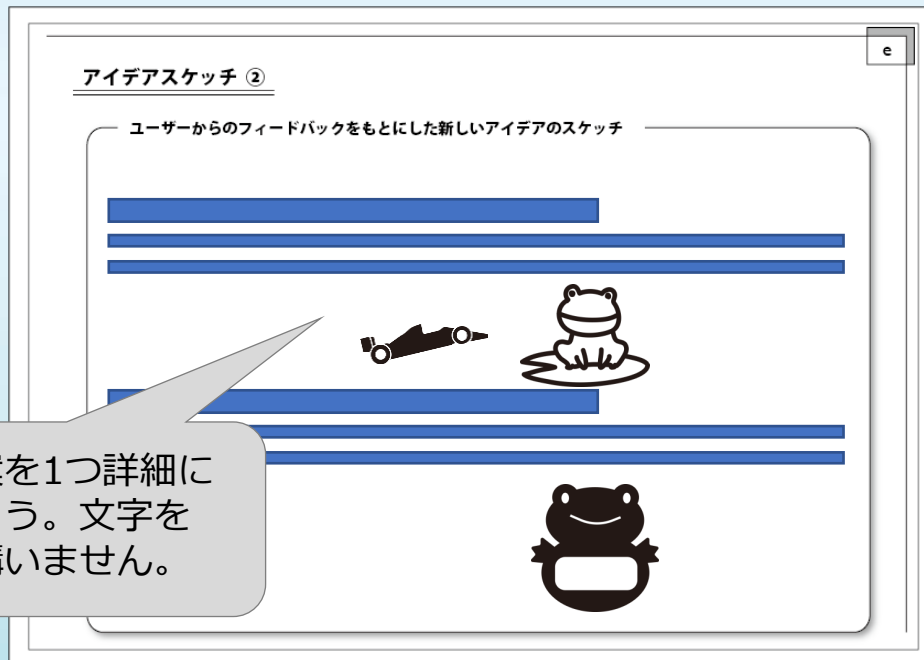
連絡

次回は、デザイン思考の後半プロセスを体験しています。
演習課題(ワークシート)は回収しますので、表紙の下部に“自分の名前”を必ず記入してください。

アイデアスケッチ

フィードバックを反映させてアイデアを考えよう

使用ワークシート : e



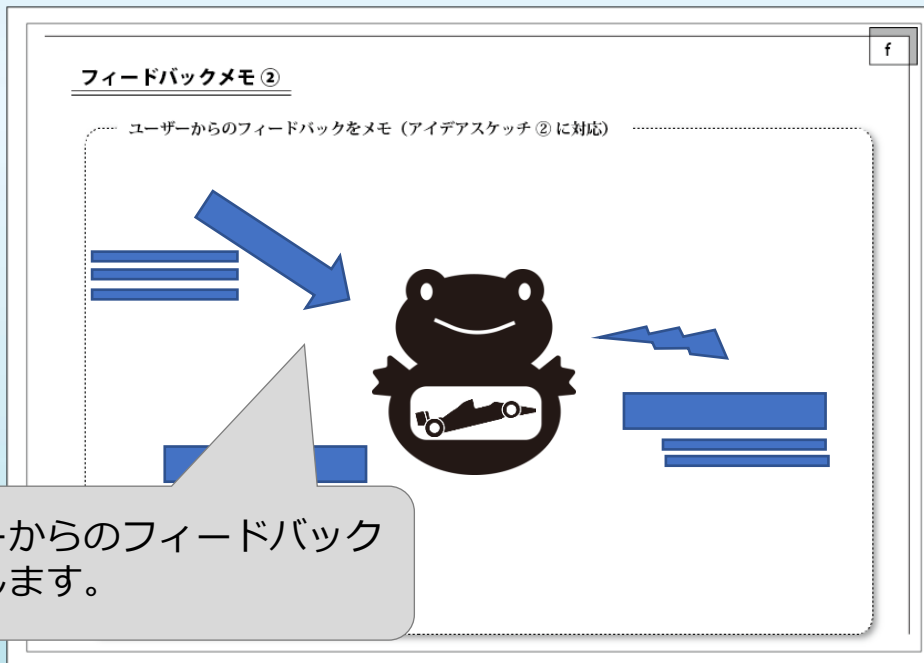
新しい提案を1つ詳細に書きましょう。文字を使っても構いません。

ユーザーからのフィードバックを踏まえ、より良い提案を考えましょう。

フィードバック

ユーザーからフィードバックをもらおう

使用ワークシート : f



ユーザーからのフィードバック
を記入します。

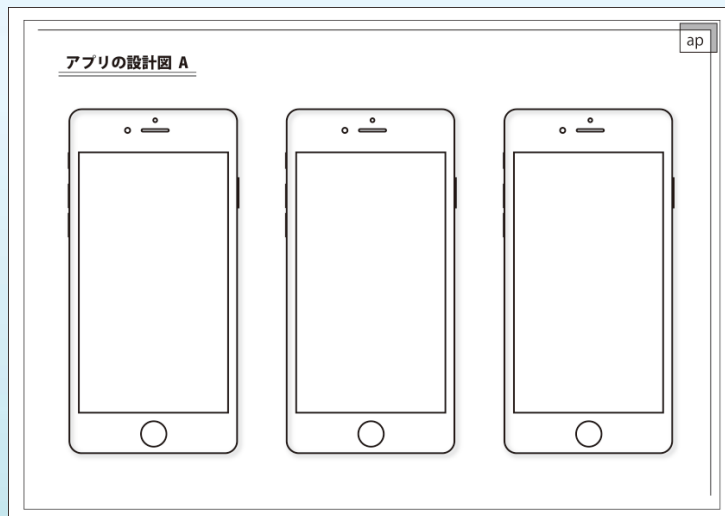
再度アイデアスケッチを
ユーザーに示し、フィード
バックをもらいます。

プロトタイプ作成

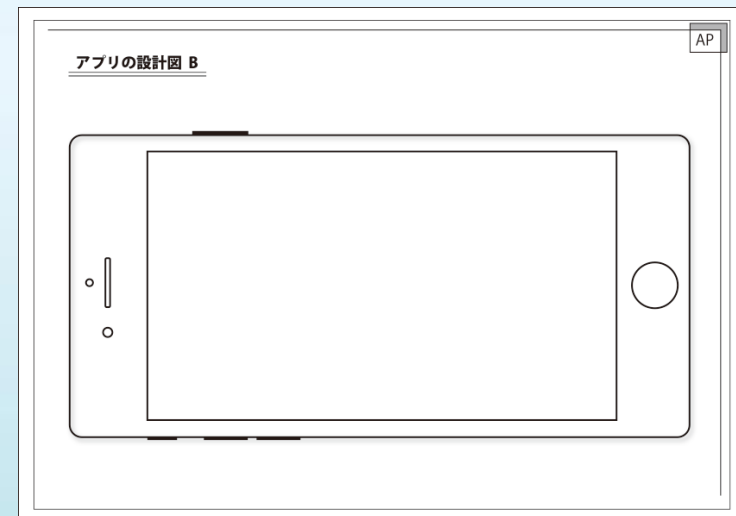
アプリのプロトタイプを描いてみよう

使用ワークシート : ap/AP

ユーザーのインサイトを満たすアプリをスマホに描いてみよう



動きや場面を表現してみよう



デザインなどを詳細に表現してみよう










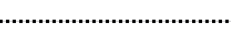
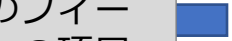

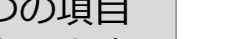

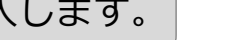









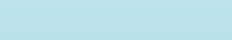







フィードバック

フィードバックをまとめてみよう

使用ワークシート : g


フィードバックマップ① g

ユーザーからのフィードバックを分類（アプリの設計図 A/B に対応）

＋うまくいった点	▽改善点
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	

? 疑問点

! 追加のアイデア



ユーザーからのフィードバックを4つの項目に分類し、記入します。

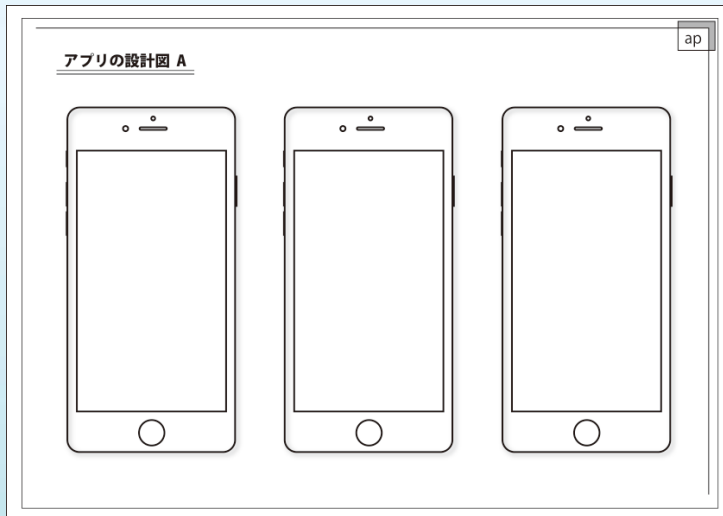
プロトタイプをユーザーに説明をして、フィードバックをもらいます。

プロトタイプ修正

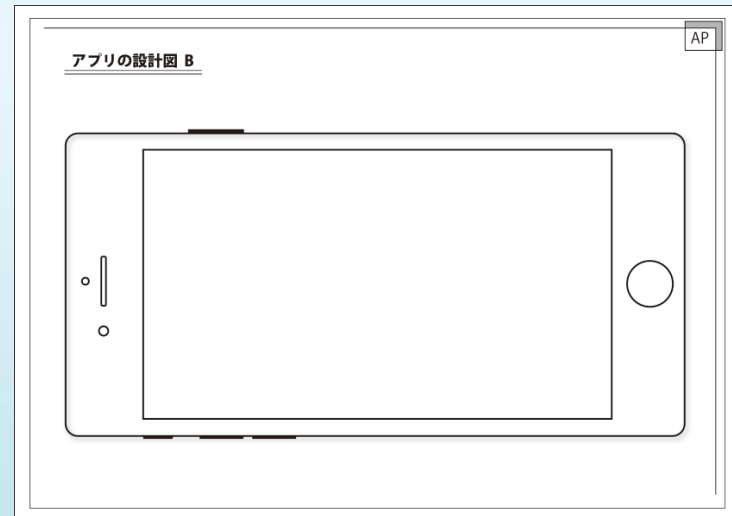
プロトタイプを修正しよう

使用ワークシート : ap/AP

フィードバックから得た改善点や追加のアイデアを反映させてみる



動きや場面を表現してみよう



デザインなどを詳細に表現してみよう

フィードバック

フィードバックまとめてみよう

使用ワークシート：h

The screenshot shows a worksheet titled "フィードバックマップ②" (Feedback Map 2) with a tab labeled "h". The worksheet is divided into four quadrants by a dashed line. The top-left quadrant is labeled "＋うまくなった" (Improved) and contains four blue horizontal bars. The top-right quadrant is labeled "▽改善点" (Improvement points) and contains three blue horizontal bars. The bottom-left quadrant is labeled "? 疑問点" (Question points) and contains two blue horizontal bars. The bottom-right quadrant is labeled "! 追加のアイデア" (Additional ideas) and contains three blue horizontal bars. A callout box points to the top-left quadrant with the text: "ユーザーからのフィードバックを4つの項目に分類し、記入します。" (Classify user feedback into 4 items and enter it).

修正後のプロトタイプを再度ユーザーに説明をして、フィードバックをもらいます。

提案を共有しよう

以下の流れで、あなたの提案(アイデア)を共有してください。

A: 「Bさんは〇〇という困りごとを訴えていましたが、私はBさんのインサイトは△△ではないかと仮説を立て、□□を提案をしました。」

B: 「Aさんの提案を受け、私は▲▲だと思いました。」

→役割を交代

→その後、次のペアに移る

まとめと連絡

本日のまとめ

創造(アイデアスケッチ)→試作(プロトタイプ作成)→検証(フィードバック)を体験しました。
また、フィードバックをもとにプロトタイプを修正する過程も体験しました。

連絡

次回は、演習における学びを振り返ります。
演習課題(ワークシート)は回収しますので、ご協力ください。

今までの振り返り



デザイン思考は、絶えず循環し、イノベーションを起こし続けていく終わりのない取り組みです。

学びの振り返り(個人)

学んだことを振り返ってみよう

使用ワークシート : i

The screenshot shows a worksheet window with a title bar containing the letter 'i'. The main content area is titled '振り返り' (Reflection) and has a sub-section '個人の振り返り' (Individual Reflection). This section contains several horizontal blue bars of varying lengths, intended for handwritten notes. A speech bubble points to these bars with the text: '箇条書きでもいいのでなるべくたくさん記入してください。' (Please enter as much as possible, even if it's in bullet points.)

ここまでの演習で…

新たに知ったことや発見したこと、
感想、活用の場面

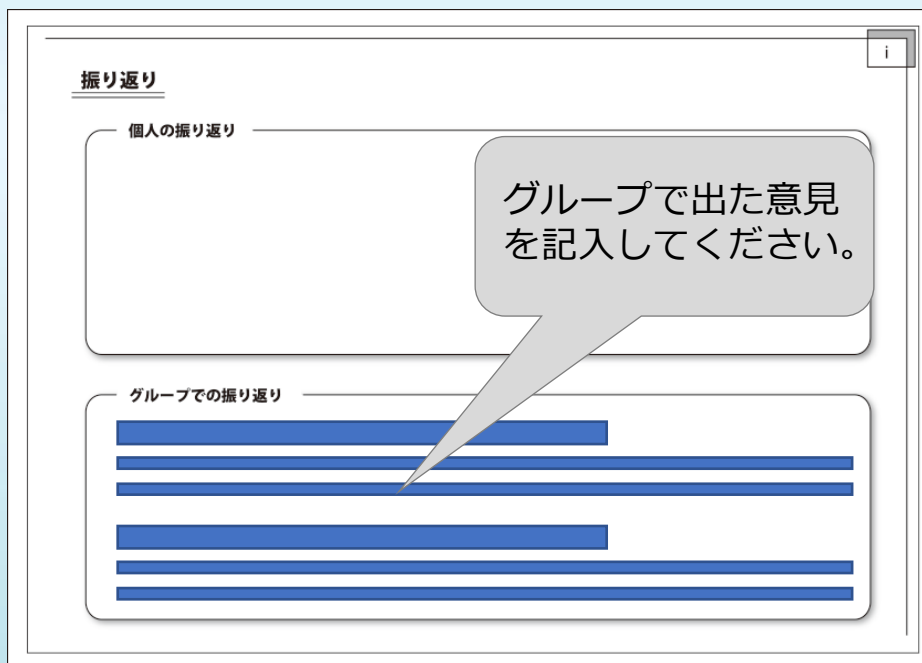
などを記入してください。

箇条書きでもいいので
なるべくたくさん記入
してください。

学びの振り返り(グループ)

学んだことを振り返ってみよう

使用ワークシート：i



The screenshot shows a worksheet with the following structure:

- 振り返り** (Reflection)
- 個人の振り返り** (Individual Reflection): A large empty rectangular box for writing.
- グループでの振り返り** (Group Reflection): A section containing several horizontal blue lines for writing.
- A callout box with the text: **グループで出た意見を記入してください。** (Please enter the opinions expressed in the group.)

個人の振り返りと同様に、
グループで本研修における
学びについて振り返り、意
見を記入してください。

全体共有

全員で情報を共有しよう

グループで出た意見を全体に共有していきます。

1人の方に代表して発表してもらうので、代表者を決めてください。

まとめ講義



デザイン思考は、絶えず循環し、イノベーションを起こし続けていく終わりのない取り組みです。

まとめ講義

ビジネスの現場で“イノベーションし続けること”が求められている

商品には寿命があり、それぞれの商品に改良を重ねていってもいつかは寿命が訪れます。そこで、**常に新しい商品の開発を目指し、新商品を生み出していく必要があります**。企業に商品開発部門が存在している理由でもあります。

1つの商品を寿命まで支えていくことも大切ですが、それに代わる新たな価値（=新商品）を開発し続けていくことも求められています。**デザイン思考は、その取り組み方の1つです**。